

## (提案書様式2-1)

## 移動式X線透視診断装置(Cアーム)評価項目確認書

評価項目		評価ポイント	回答	方法・方式
1	X線発生装置およびX線管装置の性能について	1	IVRなどの長時間の撮影が可能であること。	
		2	パルス透視フレームレートは、より詳細な観察から低被ばくまで柔軟に設定変更が可能であること。	
		3	コリメーション機能を有し、左右非対称の絞りが可能であること。	
2	フラットパネルディテクタの性能について	1	広範な撮影範囲の提供が可能であること。	
		2	視野サイズの切り替えが可能であること。	
		3	精細なサンプリングピッチ( $\mu\text{m}$ )の提供が可能であること。	
3	Cアーム本体の性能について	1	Cアームの開口部と奥行きが広く、素早いアプローチが容易であること。	
		2	衝突防止のための安全機能を有すること。	
		3	Cアームのポジションメモリー機能を有すること。	
		4	術中にテーブルサイドで手技者(医師)によるCアームの角度調整等が可能であること。	
4	画像処理機能について	1	25fps以上のDSA撮影が可能であること。	
		2	過去に撮影したマスク画像を使用したロードマップ透視機能を有すること。	
		3	モニター上で血管マーキング(グラフィックオーバーレイ)が可能であること。	
		4	計測機能や透視画像の自動処理などの診療支援につながる画像処理が可能であること。	
5	画像表示モニター・画像記録・画像保存機能について	1	付属モニターは最低49インチ以上であること、かつ、1K以上の高精細モニターの装備が可能なこと。	
		2	撮影画像を画像サーバーや動画サーバーに出力できるだけでなく、種々の電子保存媒体にも出力可能であること。	
		3	透視画像の連動録画が可能であること。	
6	高画質と医療被ばく低減に対する機能について	1	高画質を実現するための画像処理技術を有していること。	
		2	医療被ばく低減を実現するための本体構造や機能を有していること。	
		3	被験者の放射線被ばくの指標となる面積線量、X線透視時間等を表示する機能を有すること。	
7	移動型透視手術台の機能について	1	手術台天板はX線透過性の高い性能を有すること。	
		2	手術台の可動範囲は、長手方向ならびに横手方向ともに十分な可動長を有すること。	
		3	手術台の移動と固定は、より容易で安全な構造であること。	
8	販売実績及び保守・サポート体制	1	日本国内に販売実績を有すること。	
		2	年間を通じ24時間の故障連絡体制が整備されていること。	
		3	障害時は、早急な復旧を可能にするサービス体制を有すること。	
10	自由提案	上記以外で本院経営に資する提案		
<b>技術評価点</b>				
9	費用	1	本体価格	
		2	保守点検費(3年)	
<b>価格評価点</b>				
<b>総合評価点</b>				